

様式2

令和4年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

令和4年11月28日

高校教育課長 様

更級農業高等学校長

下記のとおり事業を実施しました。

記

1 実績内容

事業名	経年変化による堆肥置き場枠の修繕
実施主体名	生物科学科 環境科学コース
実施人数（生徒）	3年 19名
〃（保護者）	
〃（職員等）	4人
実施日	11月14日（月）～ 25日（金）のうち 5日間実施
事業内容	この堆肥置き場では校内で廃棄される雑草、腐敗した野菜、家庭科や加工実習で排出される生ゴミを堆肥化している。平成22年に作られており、経年劣化により堆肥置き場の木枠が腐敗し、崩れている箇所がある。そこで腐敗した木材と錆びた鉄枠を交換し、堆肥置き場の修繕を行う。

2 実績額 87,730 円

（購入品目）

※添付書類で明細が分かる場合は省略可。

品名	規格	数量	単価	金額
キシラデコール	71	1	16,800	16,800
油性ハケ	70mm	5	298	1,490
パイプ打ち込み先端		20	218	4,360
足場単管	1.5m	20	1,220	24,400
2×4 木材 6フィート		60	678	40,680

3 実施成果の公表方法・時期

学校ホームページにて公表

担当者（職・氏名）実習担当教諭 木船 隆弘

様式2の付表

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

この堆肥置き場では校内で廃棄される雑草、腐敗した野菜、家庭科や加工実習で排出される生ゴミを堆肥化している。平成22年に作られており、経年劣化により堆肥置き場の木枠が腐敗し、崩れている箇所がある。そこで腐敗した木枠を取り外し、新たに防腐剤を塗った木材を設置した。また錆びた枠を取り外し、新しい枠にすることによって、きれいな堆肥置き場となった。

環境科学コースの3年生は農業科の授業を通して、SDGsについて学んでいる。今回、堆肥置き場の修繕をすることによって、壊れたら捨てるのではなく、修繕をすることによって、再使用できることの大切さを学ぶことができた。

作業を通して、協調性が生まれ、最初遅かった作業も、最後の方では早くできるようになり、効率よく自らが考え行動することができるようになった。

○事業を実施する上での問題点

堆肥置き場には食品製造で排出された生ゴミや校内の環境整備で排出される雑草などが日頃から捨てられ、堆肥へ分解されるのに時間がかかる。そのため、堆肥置き場の中が空かず、作業に取り掛かるのが11月になってしまった。また、天候に左右され、思うように作業が出来なかった。

○今後、本事業に要望すること

木材や鉄資材の価格の高騰により、今回全ての事業が予算の関係上終わらなかったもので、できれば、予算を増額して頂きたい。

○事業実施風景

